

# 北東アジア動向分析

2020年7月

ERINA

## 中国

### コロナウイルスの影響から脱出を図る中国経済

中国国家统计局の発表によると、2020年第1四半期の中国の実質GDP成長率は、前年同期比マイナス6.8%となった。第1次産業の成長率は同マイナス3.2%、第2次産業は同マイナス9.6%、第3次産業は同マイナス5.2%で、第2次産業のマイナス幅が最も大きかった。名目GDPは、20兆6504億元であり、そのうち、第1次産業の生産額は1兆186億元、第2次産業の生産額は7兆3638億元、第3次産業の生産額は12兆2680億元となった。コロナウイルスの影響で経済が大きな打撃を受けたことが浮き彫りになったが、3月以降回復の兆しも見え始めている。

2020年1-5月の一定規模以上工業企業（本業の年間売り上げ2000万元以上）の付加価値額が前年同期比マイナス2.8%であった。1-2月期は同マイナス13.5%を記録したが、5月になると同4.4%のプラス成長に回復している。5月の付加価値額を企業形態別にみると、国有及び国有持株企業は同2.1%、株式企業は4.8%、外資系企業は3.4%、私営企業は7.1%であり、すべての企業形態でプラス成長となった。5月の工業生産成長率を分野別にみると、採鉱業は1.1%、製造業は5.2%、電力・熱力・ガス・水の生産供給業は3.6%である。

1-5月の名目固定資産投資総額（農家除く）は19兆9194億元であり、成長率は前年同期比マイナス6.3%となった。1-2月期は同マイナス24.5%と大幅に減少したが、最近減少幅が収束してきている。産業別にみると1-5月期の第1次産業の値は、前年同期比増減なしの5634億元、第2次産業は同マイナス11.8%の6兆496億元、第3次産業は同マイナス3.9%の13兆3091億元であった。分野別にみると、インフラ投資は同マイナス6.3%、製造業は同マイナス14.8%、不動産開発は同マイナス0.3%であった。

個人消費の動向を示す1-5月の社会消費品小売総額は、前年同期比マイナス13.5%の13兆8730億元であった。5月のみの値をみると、同マイナス2.8%の3兆1973億元であった。この数値を産業別にみると、小売業が同マイナス0.8%の2兆8959億元、飲食業が同マイナス18.9%の3013億元であり、飲食業への打撃が大きい。一定規模以上の小売業等関連企業（本業の年間売上2000万元以上の卸企業、500万元以上の小売業、200万元以上の飲食・ホテル企業）による社会消費品小売総額では、日用品は同17.3%増、飲料類は同16.7%増、穀物・油・食品類は同11.4%増、石油および石油製品は同14%減となった。

消費者物価指数(CPI)の1-5月における値は、前年同期比4.1%の物価上昇であり、5月だけをみると、前年同月比2.4%の上昇となった。5月の物価上昇を品目別で見ると、食品・酒・たばこ価格は同8.5%の上昇、衣服は同0.4%の下落、居住関連は同0.5%下落、医療保健が同2.1%上昇、交通通信は同5.1%の下落である。食品・酒・たばこの価格のうち、豚肉が同81.7%の上昇、野菜が同8.5%の下落、果物が同19.3%の下落を

示し、豚肉の上昇幅は異常であった。

中国が1-5月に対外貿易を行った総額は、前年同期比8%減の1兆6486.2億ドルであり、そのうち輸出は同7.7%減の8849.9億ドル、輸入は8.2%減の7636.3億ドルである。貿易支出は1213.6億ドルの黒字である。外資導入状況については、1-5月の対中直接投資額（実行ベース、銀行・証券除く）が、前年同期比6.2%減の512.1億ドルであったが、5月だけをみると、対中直接投資額は前年同期比4.2%増の98.7億ドルであった。

## 中国政府は「海南自由貿易港建設全体方案」を公表

中国共産党中央・國務院は2020年6月1日に「海南自由貿易港建設全体方案」を公表した。中国南部の観光リゾート島である海南省を、貿易・投資・金融・人的移動・輸送・観光等様々な面で最先端の開放政策を実施し、中国対外開放の新しい拠点地域に発展させる計画である。例えば、島内全域で「関税ゼロ」の実施、外国企業の投資規制の緩和、一部の輸出入管理・海上輸送に関わる審査権の中央から海南省への譲渡、土地利用規制の緩和や審査権の譲渡、外国人へのビザ発給や出入国管理改革などが挙げられている。海南省では一部の全国法の実施の緩和や、内容を修正して実施することも行われている。海南省は国際的に影響力のある経済・交流拠点に発展していくかを今後見守りたい。

(新潟県立大学国際地域学部講師・ERINA共同研究員 穆堯芊)

表 中国のマクロ経済指標

|                 | 単位  | 2011   | 2012   | 2013   | 2014   | 2015   | 2016   | 2017   | 2018   | 2019   | 2020年1-5月 |
|-----------------|-----|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|-----------|
| 実質GDP成長率        | %   | 9.5    | 7.9    | 7.8    | 7.3    | 6.9    | 6.7    | 6.9    | 6.6    | 6.1    | ※▲6.8     |
| 工業総生産伸び率(付加価値額) | %   | 13.9   | 10.0   | 9.7    | 8.3    | 5.9    | 6.0    | 6.6    | 6.2    | 5.7    | ▲2.8      |
| 固定資産投資伸び率       | %   | 23.8   | 20.3   | 19.6   | 15.7   | 10.0   | 8.1    | 7.2    | 5.9    | 5.4    | ▲6.3      |
| 社会消費品小売総額伸び率    | %   | 17.7   | 14.3   | 13.1   | 12.0   | 10.7   | 10.4   | 10.2   | 9.0    | 8.0    | ▲13.5     |
| 消費価格上昇率         | %   | 5.4    | 2.6    | 2.6    | 2.0    | 1.4    | 2.0    | 1.6    | 2.1    | 2.9    | 4.1       |
| 輸出入収支           | 億ドル | 1,551  | 2,311  | 2,592  | 3,825  | 5,945  | 5,100  | 4,225  | 3,518  | 4,215  | 1,214     |
| 輸出伸び率           | %   | 20.3   | 7.9    | 7.9    | 6.1    | ▲2.8   | ▲7.7   | 7.9    | 9.9    | 0.5    | ▲7.7      |
| 輸入伸び率           | %   | 24.9   | 4.3    | 7.3    | 0.4    | ▲14.1  | ▲5.5   | 15.9   | 15.8   | ▲2.8   | ▲8.2      |
| 直接投資伸び率(実行ベース)  | %   | 9.7    | ▲3.7   | 5.3    | 1.7    | 6.4    | 4.1    | 4.0    | 3.0    | 2.6    | ▲6.2      |
| 外貨準備高           | 億ドル | 31,811 | 33,116 | 38,213 | 38,430 | 33,304 | 30,105 | 31,399 | 30,727 | 31,079 | 31,017    |

(注)

- ・前年比、前年同期比。
- ・工業製品伸び率は国有企業及び年間売上高500万元以上の非国有企業の合計のみ。2011年からは年間売上高2,000万元以上の企業の合計である。
- ・2011年から、固定資産投資額の統計対象は計画投資額が50万元以上から500万元以上に引き上げた。また、都市部と農村部を統合し、「固定資産投資(農家除く)」として統計している農家の固定資産投資については別途集計している。
- ・外貨準備高は各年末、月末の数値。
- ・2006年以降の直接投資には、銀行・証券業を除く。
- ・2009年の実質GDP成長率は、中国国家統計局が2011年1月10日に発表した数値。2010年の実質GDP成長率は、中国国家統計局が2011年9月7日に発表した数値。2011年の実質GDP成長率は、中国国家統計局が2013年1月7日に発表した数値。2012年の実質GDP成長率は、中国国家統計局が2014年1月8日に発表した数値。2014年の実質GDP成長率は2015年9月7日に発表した数値。
- ・※は2020年第一四半期の値である。

(出所) 中国国家統計局、中国商務部、中国税関総署、国家外貨管理局の資料より作成。

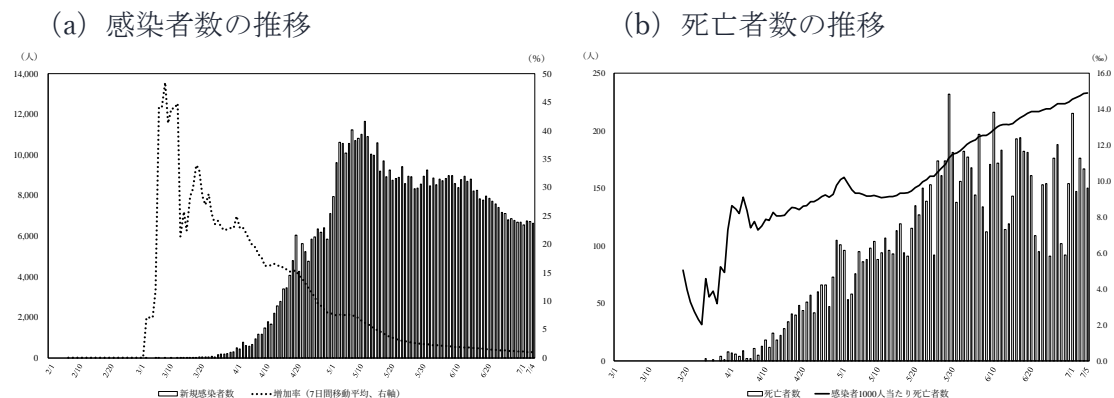
## ロシア

### ロシアの COVID-19 感染：2020 年 7 月 5 日現在

2020 年 7 月 5 日現在、ロシアにおける新型コロナウイルス（COVID-19）<sup>1</sup>の感染者数は 68 万 1251 人を記録している。ロシアでは、1 月 31 日に最初の感染が確認され、3 月 19 日に最初の死亡が確認された。それから約 4 か月が経過した 7 月 4 日に死亡者数は 1 万人を上回る 1 万 161 人にまで増加した。

5 月の初めから半ばにかけては、1 日あたりの新規感染数は 1 万人台で推移していたが、それ以降はゆっくりと減少し、6 月末以降は 6 千人台で推移している（図 1 (a)）。また、6 月 20 日以降は、新規感染者を上回る勢いで回復者数が増加している（7 月 5 日は 1 万 161 人、現在までの回復者数は 35 万 6963 人で、感染者数の 51.5%）。ロシアにおける感染状況は 5 月半ばにはピークを越え、現在は徐々に改善に向かっている。一方で、一日あたりの死者数は高止まりし、感染者数 1000 人当たりの死者数は遡増しており、現在の数値は 14.92 人になった（図 1 (b)）。人口 100 万人当たりの死者数は 70 人である。

図 1 ロシアにおける COVID-19 の状況：2020 年 7 月 5 日現在



出所：筆者作成。

地域の感染状況に目を向けると、5 月初頭には、中央連邦管区に感染者数の 70.5%（モスクワ市に 51.8%）が集中し、それに次いで感染者数が多かったのは北西連邦管区（7.2%）であった（ERINA REPORT Plus No. 154 を参照）。しかし、2 か月後の現在は、シベリア連邦管区およびウラル連邦管区において感染数が急増しており、それぞれ 3504 人から 4 万 5454 人（13.0 倍）、4341 人から 4 万 3177 人（9.9 倍）に増加している。中央連邦管区の感染者数の比率は 53.7%（モスクワ市は 33.0%）にまで低下し、感染者の地理的分布は沿ヴォルガ連邦管区 11.4%、北西連邦管区 8.5%、シベリア連邦管

<sup>1</sup> この動向分析の中で用いている COVID-19 の感染状況に関する情報は以下のウェブサイトなどから得ている。  
ロシア情報公式ポータルサイト：<https://stopkoronavirus.pf/> ;  
worldometers：<https://www.worldometers.info/coronavirus/> 。

区 6.7%、ウラル連邦管区 6.3%となっており、分布の重心が東へシフトしている状況が見て取れる。ロシアでは、モスクワ市中心とする大都市での爆発的な感染（第1波）と、地方都市への地理的な拡大（第2波）というように理解されている。人口100万人あたりおよび感染者数1000人当たりの死亡数を見ると、ロシア全体ではそれぞれ69人および14.9人であるが、モスクワ市およびサンクトペテルブルク市では人口100万人あたり感染者数がそれぞれ312人および249人と突出して多い。ただし、両市における感染者数1000人当たりの死亡者数はそれぞれ17.6人および52.7人と対照的である。このことからサンクトペテルブルク市の状況はより深刻であるといえよう。感染者数1000人当たりの死亡者数は、北カフカス連邦管区において22.8人と多いが、それ以外の地域では、ロシア全体の水準を下回っている。

ロシアの感染者数は、米国の約300万人、ブラジルの160万人に次いで多く、それにインドの67万4312人が続いている。なお、ロシアでは積極的に検査が実施されており、検査件数は、204万5110件であり、中国と米国に次いで多い。このように感染者数でみた場合、ロシアにおける感染拡大は非常に深刻な状況にある。ただし、人口100万人あたりの感染者数および死亡者数はそれぞれ4622人（28位、世界平均は1,461人）および69人（42位、世界平均68.5人）であり、最悪とまでは言えない。

#### 自粛体制下のロシア経済の状況

ロシアの2020年第1四半期の対前年同期比GDP実質成長率は1.6%増であった。第2四半期に関する統計は今のところ発表されていないが、ロシア経済発展省の「2020年5月経済活動概観」（2020年6月18日）によると、4月および5月の成長率はそれぞれ12.0%減および10.9%減となり、1-5月で3.7%減となると予測されている。これはコロナ感染拡大を防止するためにとられた非労働日体制（ノーワーキングデー）が実施されたことに関係している。この制限措置の実施に伴い、失業率は3月の4.7%（第1四半期は4.6%）から、4月5.8%、5月6.1%へと上昇した。また、3-5月の生産活動の動向を見ていくと、建設部門は0.1%増、2.3%減、3.1%減、鉱工業は0.3%増、6.6%減、9.6%減（製造業は2.6%増、10.0%減、7.2%減、採掘部門は0.0%増、3.2%減、13.5%減）と推移している。小売業は非食料品の販売が急激に縮小したことによって、取引高が3月の5.7%増から4月23.2%減、5月19.2%減へと大きく縮小した。

6月以降は、自粛制限措置が解除されたことで、徐々に経済活動が回復していくものと期待されている。同省が発表している「地域の経済開放性指数」（労働者総数に占める制限部門以外の労働者数の比率）は、4月27日の71.3%から7月3日には96.9%にまで上昇しており、制限措置の緩和に伴って、特に製造業部門における生産縮小が緩やかになると予想されている。ロシア連邦消費者権利保護・福利監督庁は、3段階における自粛緩和を勧告している。第1段階は、制限付きの小型店舗の活動や外での散歩やスポーツを認める。第2段階は、制限ありで大規模商業施設の活動を認める。最後に、第3段階で、商業・サービス活動に対する面積・人数の制限が解除され、外食やホテル、

娯楽施設などが認められる。ロシア経済発展省が発表している「地域経済の開放水準」(2020年7月3日)によると、17地域が第1段階、62地域が第2段階、5地域が第3段階にあり、地域における自粛緩和が進んでいる。

(ERINA 調査研究部・研究主任 志田仁完)

|                                   | 2012  | 2013  | 2014  | 2015   | 2016  | 2017  | 2018  | 2019  |
|-----------------------------------|-------|-------|-------|--------|-------|-------|-------|-------|
| GDP・実質成長率 (%) <sup>(1)</sup>      | 4.0   | 1.8   | 0.7   | ▲ 2.0  | 0.2   | 1.8   | 2.5   | 1.3   |
| 固定資本投資・実質増減率 (%) <sup>(2)</sup>   | 6.8   | 0.8   | ▲ 1.5 | ▲ 10.1 | ▲ 0.2 | 4.8   | 5.4   | 1.7   |
| 鉱工業生産高・実質増減率 (%) <sup>(3)</sup>   | 3.4   | 0.4   | 2.5   | 0.2    | 1.8   | 3.7   | 3.5   | 2.3   |
| 輸送貨物量・実質増減率 (%) <sup>(2)</sup>    | 2.9   | 0.6   | ▲ 0.1 | 0.6    | 1.8   | 5.6   | 2.7   | 0.6   |
| 小売売上高・実質増減率 (%) <sup>(2)</sup>    | 6.3   | 3.9   | 2.7   | ▲ 10.0 | ▲ 4.8 | 1.3   | 2.8   | 1.9   |
| 実質貨幣可処分所得・増減率 <sup>(2)</sup>      | 4.6   | 4.0   | ▲ 1.2 | ▲ 2.4  | ▲ 4.5 | ▲ 0.5 | 0.1   | 1.0   |
| 消費者物価 (%) <sup>(4)</sup>          | 6.6   | 6.5   | 11.4  | 12.9   | 5.4   | 2.5   | 4.3   | 3.0   |
| 輸出額 (10億ドル、通関データ) <sup>(5)</sup>  | 524.7 | 527.3 | 497.8 | 343.5  | 285.8 | 357.8 | 449.6 | 424.4 |
| 輸入額 (10億ドル、通関データ) <sup>(5)</sup>  | 317.2 | 315.0 | 286.7 | 182.7  | 182.3 | 227.5 | 238.5 | 244.3 |
| 為替相場 (ドル/ルーブル) <sup>(6)</sup>     | 30.4  | 32.7  | 56.3  | 72.9   | 60.7  | 57.6  | 69.5  | 61.9  |
| 原油価格 (ブレント、ドル/バレル) <sup>(7)</sup> | 111.6 | 108.6 | 99.0  | 52.3   | 43.6  | 54.1  | 71.3  | 64.4  |

|                                   | 2018  |       |       |       | 2019  |       |       |       | 2020  |
|-----------------------------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
|                                   | 1Q    | 2Q    | 3Q    | 4Q    | 1Q    | 2Q    | 3Q    | 4Q    | 1Q    |
| GDP・実質成長率 (%) <sup>(1)</sup>      | 2.2   | 2.6   | 2.5   | 2.8   | 0.4   | 1.1   | 1.5   | 2.1   | 1.6   |
| 固定資本投資・実質増減率 (%) <sup>(2)</sup>   | 6.2   | 5.5   | 10.4  | 1.9   | 0.9   | 1.2   | 1.7   | 2.3   | 1.2   |
| 鉱工業生産高・実質増減率 (%) <sup>(3)</sup>   | 2.9   | 2.9   | 2.9   | 5.4   | 2.4   | 2.0   | 3.1   | 1.8   | 1.5   |
| 輸送貨物量・実質増減率 (%) <sup>(2)</sup>    | 2.6   | 3.3   | 2.7   | 2.2   | 2.3   | 1.4   | ▲ 0.3 | ▲ 0.8 | ▲ 3.8 |
| 小売売上高・実質増減率 (%) <sup>(2)</sup>    | 2.7   | 3.1   | 2.7   | 2.8   | 2.3   | 1.9   | 1.2   | 2.1   | 4.4   |
| 実質貨幣可処分所得・増減率 <sup>(2)</sup>      | 1.0   | 0.2   | ▲ 0.0 | ▲ 0.8 | ▲ 1.7 | 1.0   | 2.9   | 1.8   | ▲ 0.2 |
| 消費者物価 (%) <sup>(4)</sup>          | 2.2   | 2.4   | 3.0   | 3.9   | 5.2   | 5.0   | 4.3   | 3.4   | 2.4   |
| 輸出額 (10億ドル、通関データ) <sup>(5)</sup>  | 103.0 | 110.2 | 112.2 | 124.2 | 104.8 | 101.9 | 104.3 | 113.4 | 89.5  |
| 輸入額 (10億ドル、通関データ) <sup>(5)</sup>  | 54.7  | 61.0  | 60.1  | 62.6  | 53.4  | 59.6  | 62.8  | 68.5  | 53.4  |
| 為替相場 (ドル/ルーブル) <sup>(6)</sup>     | 56.4  | 62.5  | 65.5  | 67.3  | 65.5  | 64.3  | 64.8  | 63.3  | 69.3  |
| 原油価格 (ブレント、ドル/バレル) <sup>(7)</sup> | 66.8  | 74.5  | 75.2  | 67.7  | 63.2  | 68.9  | 61.9  | 63.4  | 50.4  |

|                                   | 2018 |      |      |      |      | 2019 |      |      |      |       | 2020  |       |       |        |        |
|-----------------------------------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|-------|-------|-------|-------|--------|--------|
|                                   | 1月   | 2月   | 3月   | 4月   | 5月   | 1月   | 2月   | 3月   | 4月   | 5月    | 1月    | 2月    | 3月    | 4月     | 5月     |
| 鉱工業生産高・実質増減率 (%) <sup>(3)</sup>   | 2.7  | 3.2  | 2.7  | 3.2  | 3.5  | 2.0  | 3.6  | 1.8  | 4.1  | ▲ 0.1 | 1.1   | 3.3   | 0.3   | ▲ 6.6  | ▲ 9.6  |
| 輸送貨物量・実質増減率 (%) <sup>(2)</sup>    | 1.3  | 2.2  | 4.4  | 4.9  | 3.0  | 2.4  | 1.8  | 2.5  | 2.6  | 1.0   | ▲ 3.8 | ▲ 0.4 | ▲ 6.7 | ▲ 5.8  | ▲ 9.5  |
| 小売売上高・実質増減率 (%) <sup>(2)</sup>    | 3.0  | 2.1  | 3.0  | 3.2  | 2.9  | 2.2  | 2.3  | 2.4  | 2.0  | 1.9   | 2.7   | 4.7   | 5.7   | ▲ 23.2 | ▲ 19.2 |
| 実質貨幣可処分所得・増減率 <sup>(2)</sup>      | -    | -    | -    | -    | -    | -    | -    | -    | -    | -     | -     | -     | -     | -      | -      |
| 消費者物価 (%) <sup>(4)</sup>          | 0.3  | 0.2  | 0.3  | 0.4  | 0.4  | 1.0  | 0.4  | 0.3  | 0.3  | 0.3   | 0.4   | 0.3   | 0.5   | 0.8    | 0.3    |
| 輸出額 (10億ドル、通関データ) <sup>(5)</sup>  | 34.0 | 32.0 | 37.0 | 36.5 | 36.9 | 32.4 | 35.2 | 37.2 | 36.6 | 32.7  | 30.9  | 28.5  | 30.1  | 23.7   | -      |
| 輸入額 (10億ドル、通関データ) <sup>(5)</sup>  | 15.6 | 18.4 | 20.7 | 19.9 | 20.6 | 15.6 | 17.6 | 20.2 | 21.0 | 19.2  | 16.1  | 17.9  | 19.5  | 16.6   | -      |
| 為替相場 (ドル/ルーブル) <sup>(6)</sup>     | 56.3 | 55.7 | 57.3 | 62.0 | 62.6 | 66.1 | 65.8 | 64.7 | 64.7 | 65.1  | 63.0  | 67.0  | 77.7  | 73.7   | 70.8   |
| 原油価格 (ブレント、ドル/バレル) <sup>(7)</sup> | 69.1 | 65.3 | 66.0 | 72.1 | 77.0 | 59.4 | 64.0 | 66.1 | 71.2 | 71.3  | 63.7  | 55.7  | 32.0  | 18.4   | 29.4   |

(1) 年次成長率は2020年4月1日更新値 (ロススタット・ウェブサイト) である。四半期別成長率は2020年6月18日更新値である。

(2) 『ロシア短期経済指標 (2020年5月)』 (2020年7月3日) の数値である。

(3) 2013年までの数値は全ロシア経済活動分類 (OKVED) ・第1.1版である。2014年以降の数値はOKVED ・第2版の産業部門分類に基づく。年次データおよび四半期・月次データはともに『ロシア短期経済指標 (2020年5月)』 (2020年7月3日) の数値である。

(4) ロススタットウェブサイト掲載値。年次データは前年12月比 (2020年6月8日更新値)、四半期データは対前年同期比 (2020年4月8日更新値)、月次データは前月比 (2020年6月8日更新値) の増減率である。

(5) UISISデータ (2020年3月5日更新値) および『ロシア社会経済情勢 (2020年5月)』。

(6) 『ロシア短期経済指標 (2020年1月)』 (2020年3月5日)。年次・月次データは、期末の数値。四半期は3か月平均値。

(7) スポット価格。四半期データは、月次データの平均値。2019年の数値は月次データの平均値。アメリカ合衆国エネルギー省 (2020年7月1日更新値)。

(出所) ロシア連邦国家統計庁 (ロススタット) ウェブサイト最新値; 『ロシア短期経済指標 (2020年5月号)』 (ロシア連邦国家統計庁); 『ロシア社会経済情勢 (2020年5月号)』 (ロシア連邦国家統計庁); 省庁間統一情報統計システム (UISISデータベース)。

## モンゴル

### マクロ経済

2020年第1四半期のモンゴルの実質 GDP は、COVID-19の世界的流行に伴う経済活動の鈍化により、前年同期比10.7%減少した。鉱業部門は最も大きな打撃を受けており、縮小の7.6パーセントポイントを占めた。モンゴルの鉱業輸出の実質的に唯一の輸出先である中国経済の収縮により、鉱業製品の需要は減少し、鉱業部門の付加価値は実質ベースで前年同期比29.5%減少した。封鎖、制限、厳格な国境通過手続きなどのCOVID-19のパンデミック対策がこの状況を助長した。サービスはパンデミックに苦しんでいる第二の主要なセクターであり、収縮の3.3パーセントポイントを担っている。サービス部門の付加価値は、2020年第1四半期に前年比6.8%減少した。

鉱工業生産額（GIO）は引き続き低下し、2020年第1四半期には前年同期比9.3%減で、2020年4月と5月にはそれぞれ18.5%減と23.4%減と下落幅が拡大した。累積すると、鉱工業生産額は1-5月期で前年比18.6%減少したが、そのうち鉱業生産は前年比23.4%減少した。モンゴルの主要な輸出商品の1つである石炭生産高は、2020年の1-5月期で1,060万トンに達した。これは前年の半分近く（49.5%）であった。金と鉄鉱石を除いて、実質的にすべての鉱業商品の生産が低下した。この期間中、製造業の生産も前年比10.5%減少した。

2020年5月末の登録失業者数は19,800人で、前年より15.8%減少した。しかし、労働力調査（LFS）によると、2020年第1四半期末の失業者数は82,666人であり、失業率は6.6%だった。したがって登録失業者数の変化は実情を反映していない。常識に反して、経済が縮小すると登録失業者の数が減少することが観察されることから示唆される。これは失業保険のカバー率が低いことに関連している可能性がある。失業者の多くは失業給付を受ける資格がなく、したがって登録をする動機が働かないのである。

2020年4月の消費者物価（CPI）上昇率は前年同期比4.7%であったが、5月には3.3%減少した。しかし、CPIのバスケットの26.1%を占める食品および非アルコール飲料は5月に前年同期比4.7%上昇した。食品以外のCPIは前年同期比2.6%増加した。同時に、CPIのバスケットの3番目に大きい（全体の14.4%）項目である輸送は、国内および国外の旅行制限の影響による需要の減少により、前年同期比6.8%低下した。しかし5月には同7.9%に上昇した。

通貨トゥグルグの対米ドル平均為替レートは下落を続け、2020年4月の1ドル＝2783トゥグルグと5月の1ドル＝2797トゥグルグで、それぞれ前年同月比5.6%、5.7%の減価となった。

2020年1-5月期の国家財政収支は急速に悪化し1兆5790億トゥグルグの赤字であった。期間中の均衡収入と援助の合計は3.3兆トゥグルグで前年同期比15.4%減少



し、総支出と純貸付は4.9兆トゥグルグで29.3%増加した。税収は前年同期比14.9%減、税外収入は前年比20.7%減少した。税収はそれぞれ前年同期比3.3%と3.2%増加した個人所得税と車両固定資産税を除いてすべての税目で減少した。以前より小規模だが、総予算収入と援助から2,100億トゥグルグが未来遺産基金に、96億トゥグルグが安定化基金に割り当てられた。予算支出は経常支出で前年同期比27.3%増加し、資本支出で前年同期比57.6%増加した。経常支出の40.8%は財・サービスへの支出であった。

2020年5月末の貨幣供給量(M2)は、20兆5600億トゥグルグ(76.7億ドル)であった。これは前年同期を1.3%上回り、米ドル建てでは前年同期を4.2%下回っている。一方、2020年5月末の融資残高は17.2兆トゥグルグで、前年同期を4.4%下回っている。米ドル建てでは前年同期を9.6%下回っている。2019年5月末の不良債権比率は11.5%に上昇したが、その金額は自国通貨で前年同期比1.1%、米ドル建てで同5.5%減少した。

## 外国貿易

2020年1-5月期のモンゴルの貿易相手国は131カ国で、貿易総額は40億ドルであった。輸出は前年同期を38.5%上回る20億600万ドルで、輸入は前年同期を13.9%上回る19億9200万ドルであった。この結果、貿易収支の黒字は前年の9億4800万ドルからわずかに1400万ドルに減少した。モンゴルの主要な輸出商品である銅精鉱の輸出は、1-5月期に輸出高で556,000トン、輸出額では6144億ドルで、数量と金額の両方で低かった。これらはそれぞれ前年同期比10.9%、31.2%の減少であった。同時期に4.9トン、2億6580万ドルの金が輸出され、前年同期比で数量で5.4%、金額で35.6%それぞれ増加した。

1-5月期、すべての主要品目の輸入が減少し、最も大きな減少は輸送車両とその部品であった。これらの品目の輸入は前年同期比で31.3%減少した。食料品の輸入の減少は前年同期比1%と最小でした。

1-5月期、中国は引き続き最大の輸出先および輸入元であり、輸出の82.7%、輸入の34%を占めた。モンゴルの唯一のEPAパートナーである日本からの輸入は、前年同期比39%減の1億4900万ドルで、日本への輸出は前年同期比19.7%減少した。

## 輸送

経済活動の鈍化と輸出入の減少によって2020年第1四半期の総貨物回転率は前年比6.3%減少した。特にモンゴルの鉱業品の輸出出荷の大部分は道路輸送によって処理されるため、道路貨物回転率は前年比53.8%減少した。またCOVID-19パンデミックによる厳しい国境通過制限に直面した。ただし、2020年第1四半期の鉄道貨物の売上高は、道路および航空貨物の規制が厳しくなったため前年比10.3%増加した。

## 家畜及び農業

2020年1-5月期において、牝の繁殖用家畜の72.9%にあたる2260万頭が出産し、仔の生存率は95.9%であった。成畜の自然損失は120万頭で、前年同期を95%上回った。

2020年6月1日の時点で、モンゴルの総播種面積は37万5100ヘクタールで、そのうち84%が小麦に播種されている。ジャガイモと野菜はそれぞれ1万3500ヘクタールと5400ヘクタールに播種され、飼料と工業作物の播種面積はそれぞれ9500ヘクタールと2万1000ヘクタールであった。

(ERINA 調査研究部主任研究員エンクバヤル・シャクダル)

|                        | 2015年  | 2016年  | 2017年  | 2018年 | 2019年 | 2019年1Q | 2019年2Q | 2019年3Q | 2019年4Q | 2020年1Q | 2020年4月 | 2020年5月 | 2020年1-5月 |
|------------------------|--------|--------|--------|-------|-------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|-----------|
| 実質GDP成長率(対前年同期比:%)     | 2.4    | 1.2    | 5.3    | 7.2   | 5.1   | 8.6     | 6.4     | 4.6     | 2.2     | ▲10.7   | -       | -       | -         |
| 鉱工業生産額(対前年同期比:%)       | 8.8    | 12.3   | 13.0   | 4.8   | 2.4   | 11.5    | 6.6     | 2.8     | 6.0     | ▲9.3    | ▲18.5   | ▲23.4   | ▲18.6     |
| 消費者物価上昇率(対前年同期比:%)     | 1.9    | 1.1    | 4.3    | 6.8   | 7.3   | 7.0     | 7.7     | 8.4     | 6.0     | 6.1     | 4.7     | 3.3     | 5.3       |
| 登録失業者(千人)              | 32.8   | 34.4   | 25.5   | 25.0  | 20.8  | 21.8    | 23.0    | 20.4    | 20.8    | 19.4    | 20.7    | 19.8    | 19.8      |
| 対ドル為替レート(トゥグルグ)        | 1,971  | 2,146  | 2,441  | 2,473 | 2,664 | 2,639   | 2,645   | 2,667   | 2,704   | 2,757   | 2,783   | 2,797   | 2,770     |
| 貨幣供給量(M2)の変化(対前年同期比:%) | ▲4.6   | 19.8   | 30.5   | 22.8  | 7.0   | 22.5    | 16.6    | 14.0    | 7.0     | 3.8     | 1.6     | 1.3     | 1.3       |
| 融資残高の変化(対前年同期比:%)      | ▲6.4   | 6.1    | 9.6    | 26.5  | 5.1   | 23.5    | 18.3    | 11.1    | 5.1     | ▲1.8    | ▲2.8    | ▲4.4    | ▲4.4      |
| 不良債権比率(%)              | 7.4    | 8.5    | 8.5    | 10.4  | 11.5  | 10.7    | 10.5    | 10.9    | 10.1    | 10.7    | 10.9    | 11.5    | 11.5      |
| 貿易収支(百万USDドル)          | 872    | 1,558  | 1,863  | 1,137 | 1,492 | 486     | 559     | 302     | 145     | ▲126    | ▲87     | 227     | 14        |
| 輸出(百万USDドル)            | 4,669  | 4,917  | 6,201  | 7,012 | 7,620 | 1,772   | 2,167   | 2,007   | 1,674   | 1,035.8 | 337.8   | 632.7   | 2,006     |
| 輸入(百万USDドル)            | 3,798  | 3,358  | 4,337  | 5,875 | 6,128 | 1,286   | 1,608   | 1,705   | 1,529   | 1,161.6 | 424.8   | 406.1   | 1,992     |
| 国家財政収支(十億トゥグルグ)        | ▲1,157 | ▲3,660 | ▲1,742 | 3     | ▲628  | 194     | 108     | 183     | ▲1,112  | ▲276    | ▲367    | ▲935    | ▲1,579    |
| 国内貨物輸送(対前年同期比:%)       | ▲20.5  | 20.0   | 15.3   | 14.6  | 7.4   | 9.5     | 6.5     | 16.2    | ▲1.8    | ▲6.3    | -       | -       | -         |
| 国内鉄道貨物輸送(対前年同期比:%)     | ▲8.1   | 7.9    | 9.1    | 13.5  | 13.5  | 12.6    | 14.3    | 14.4    | 12.8    | 10.3    | 3.7     | 4.1     | 12.0      |
| 国内道路貨物輸送(対前年同期比:%)     | ▲51.9  | 78.4   | 33.6   | 17.3  | ▲6.6  | 1.5     | ▲13.6   | 21.6    | ▲38.4   | ▲53.8   | -       | -       | -         |
| 成畜死亡数(対前年同期比:%)        | 56     | 230    | ▲39    | 300   | ▲58   | ▲74     | ▲66     | ▲66     | ▲58     | 89      | 150     | 60      | 95        |

(注)消費者物価上昇率、登録失業者数、貨幣供給量、融資残高、不良債権比率は期末値、為替レートは期中平均値。

(出所)モンゴル国家統計局『モンゴル統計年鑑』、『モンゴル統計月報』各号ほか

## 韓国

### マクロ経済動向

韓国銀行（中央銀行）が6月2日に公表した2020年第1四半期の成長率（改定値）は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響を大きく受け、季節調整値で前期比▲1.3%となり、4四半期ぶりにマイナスを記録した。需要項目別に見ると内需では、最終消費支出は同▲4.4%で前期の同1.4%からマイナスに転じた。固定資本形成は同0.5%で前期の同4.5%から低下した。その内訳では建設投資は同0.5%となり、前期の同8.0%からは大きく低下した。設備投資は同0.2%となり、前期の同2.6%からは低下した。外需である財・サービスの輸出は半導体が伸びたが機械、自動車、化学製品は低下して同▲1.4%となり、前期の同0.5%からマイナスに転じた。一方で財・サービスの輸入も原油、自動車が減少し、同▲3.6%とマイナスになっている。

2020年第1四半期の鉱工業生産指数伸び率は季節調整値で前期比0.1%となり、前期の同1.1%から低下した。月次では季節調整値で、2020年4月に前月比▲6.7%、5月に同▲6.7%と大きく低下している。

2020年第1四半期の失業率は季節調整値で3.7%であった。月次では2020年2月に3.3%、3月は3.8%となっている。

2020年第1四半期の貿易収支（IMF方式）は150億ドルの黒字で前期の204億ドルから低下している。また4月の貿易収支は8億2400万ドルの黒字であった。

2020年第1四半期の対ドル為替レートは1ドル＝1195ウォン、月次では2020年4月に同1224ウォン、5月に同1230ウォン、6月に同1208ウォンと推移している。

2020年第1四半期の消費者物価上昇率は前年同期比1.2%であった。月次では2020年4月に前年同月比0.1%、5月に同▲0.3%と推移している。2020年第1四半期の生産者物価上昇率は前年同期比0.4%であった。月次では2020年4月に前年同月比▲1.7%、5月に同▲1.7%であった。

### 2020年及び2021年の経済展望

韓国銀行は5月28日に経済見通しを発表した。これは内外の新型コロナウイルスの感染拡大による影響を織り込んで、前回（2月）の予測から大きく下方修正したものとなっている。

2020年の成長率は▲0.2%とマイナスを予測した。これは2019年の実績2.0%を大きく下回る値である。また2021年の成長率は3.1%としている。2020年の成長率については、前半が前年同期比▲0.5%、後半が同0.1%と予測している。

2020年の成長率を需要項目別に見ると、内需はまず民間消費がコロナ禍の影響を直接的に受けて▲1.4%となり、2019年実績の1.9%からマイナスに転ずる。一方、設備投資は1.5%となり、2019年実績の▲7.7%からプラスに転ずる。建設投資は住宅需要は引き続き低迷するが公共投資の拡大も見込まれるため▲2.2%となり、2019年実績の▲3.1%からマイナス幅が縮小する。外需である輸出は海外のコロナ禍の影響を大きく受け▲2.1%となり、2019年実績の0.5%からマイナスに転ずるとしている。

2020年の失業率については4.0%で2019年の3.8%から上昇するとしている。雇用者数の増加は3万人で2019年の30万人から大きく縮小すると見込んでいる。2021年については、失業率は3.7%、雇用者数の増加は29万人としている。

一方、2020年の消費者物価上昇率は0.3%で、2019年の0.4%から低下すると予測している。2021年については1.1%としている。

これらの予測は今後の内外の新型コロナウイルスの感染状況に左右されるものであり、韓国銀行はその収束あるいは感染拡大によって、それぞれの需要項目は大きく上下にぶれる可能性を留保している。

(ERINA 調査研究部主任研究員 中島朋義)

|                    | 2015年   | 2016年   | 2017年   | 2018年   | 2019年   | 19年4-6月 | 7-9月    | 10-12月  | 20年1-3月 | 20年4月  | 5月    | 6月    |
|--------------------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|--------|-------|-------|
| 実質国内総生産(%)         | 2.6     | 2.8     | 3.1     | 2.7     | 2.0     | 1.0     | 0.4     | 1.3     | ▲1.3    | -      | -     | -     |
| 最終消費支出(%)          | 2.4     | 2.9     | 2.8     | 3.5     | 3.0     | 1.1     | 0.5     | 1.4     | ▲4.4    | -      | -     | -     |
| 固定資本形成(%)          | 3.8     | 5.2     | 8.6     | ▲2.4    | ▲3.5    | 1.6     | ▲2.7    | 4.5     | 0.5     | -      | -     | -     |
| 鉱工業生産指数(%)         | ▲0.3    | 2.2     | 2.5     | 1.5     | ▲0.1    | 1.4     | 1.9     | 1.1     | 0.1     | ▲6.7   | ▲6.7  | -     |
| 失業率(%)             | 3.6     | 3.7     | 3.7     | 3.8     | 3.8     | 4.0     | 3.5     | 3.6     | 3.7     | 3.8    | 4.5   | -     |
| 貿易収支(百万USDドル)      | 120,275 | 116,462 | 113,593 | 110,087 | 76,856  | 17,381  | 19,512  | 20,447  | 15,004  | 824    | -     | -     |
| 輸出(百万USDドル)        | 543,083 | 511,926 | 580,310 | 626,267 | 561,963 | 140,665 | 139,917 | 143,656 | 131,169 | 36,394 | -     | -     |
| 輸入(百万USDドル)        | 422,808 | 395,464 | 466,717 | 516,180 | 485,107 | 123,284 | 120,405 | 123,210 | 116,165 | 35,570 | -     | -     |
| 為替レート(ウォン/USDドル)   | 1,132   | 1,160   | 1,130   | 1,101   | 1,166   | 1,167   | 1,194   | 1,176   | 1,195   | 1,224  | 1,230 | 1,208 |
| 生産者物価(%)           | ▲4.0    | ▲1.8    | 3.5     | 1.9     | 0.0     | 0.4     | ▲0.6    | 0.0     | 0.4     | ▲1.7   | ▲1.7  | -     |
| 消費者物価(%)           | 0.7     | 1.0     | 1.9     | 1.5     | 0.4     | 0.7     | 0.0     | 0.3     | 1.2     | 0.1    | ▲0.3  | -     |
| 株価指数(1980.1.4:100) | 1,961   | 2,026   | 2,467   | 2,041   | 2,198   | 2,131   | 2,063   | 2,198   | 1,717   | 1,948  | 2,030 | 2,108 |

(注) 国内総生産、最終消費支出、固定資本形成、鉱工業生産指数は前期比伸び率、生産者物価、消費者物価は前年同期比伸び率、株価指数は期末値

国内総生産、最終消費支出、固定資本形成、鉱工業生産指数、失業率は季節調整値

国内総生産、最終消費支出、固定資本形成、生産者物価は2010年基準、消費者物価は2015年基準

貿易収支、輸出入はIMF方式、輸出入はfob価格

(出所) 韓国銀行、統計庁他

## 朝鮮民主主義人民共和国（北朝鮮）

### 朝口首脳会談 1 周年

2020 年 4 月 24 日付『朝鮮新報』は、金正恩国務委員長のロシア訪問 1 周年にあたって北朝鮮外務省ロシア担当副相（次官級）の談話「より豊かになる朝口親善の花園」を掲載した。同談話では、昨年の朝口首脳会談において、「朝鮮半島情勢と国際関係の分野で提起された諸問題について率直かつ忌憚のない意見を交わし」、「ハイレベルでの往来と接触が活発化して二国間関係の問題や国際問題についての見解が幅広く交換される」ようになったとしている。また、今年の朝鮮の解放 75 周年と朝口共同宣言採択 20 周年をはじめとする主要な契機に、様々な政治文化行事を共同で進行することが計画されていることが述べられている。

### 紙上論壇「祖国の山河をより豊かで美しいものに整えていこう」発表

2020 年 4 月 27 日付『労働新聞』は、国土環境保護省山林総局キム・ソングン副局長、チョン・チョルス局長らによる山林復旧についての紙上論壇を掲載した。この中でキム副局長は、北朝鮮の山林復旧が、単に山に木を植えるだけでなく、環境保護的機能と経済的価値を両立させることを目標にしていることに言及している。また、ここ数年、国土管理事業の実績で、市、郡によってかなりの差があることに言及があり、一貫性のある高い実績をあげるように努力が傾けられていることにも言及があった。

### 初中等教育における新たな教授法の考案

北朝鮮では研究機関や教育現場において教育方法に対する研究が熱心にかつ競争的に進められているようである。2020 年 4 月 27 日発『朝鮮中央通信』は「普通教育部門学校における新たな教授方法の創造」と題する記事を掲載した。同記事によれば、初等教育および中等教育において、児童・生徒の年齢心理的特性に合わせて教授案を更新し、新たな教授方法を作り上げ、導入していくための事業が進められていることが報じられている。

### 中央裁判所代表団がラオス、ベトナム訪問

2020 年 5 月 13 日付『朝鮮新報』によれば、康潤石所長中央裁判所を団長とする中央裁判所代表団がラオスとベトナムを訪問し、両国の最高人民裁判所、最高裁判所所長らと会談を行うとともに、両国と司法部門での交流と協力に関する覚書を交わした。

### 順川リン肥料工場竣工

2020年5月2日発『朝鮮中央通信』によれば、同月1日、平安南道順川市で順川リン肥料工場の竣工式があり、金正恩国務委員長が参加し、テープカットを行った。同竣工式には朴奉珠朝鮮労働党副委員長と金才竜内閣総理、金徳訓最高人民会議予算委員長、朴泰成最高人民会議議長、朝鮮労働党中央委員会第1副部長である金与正、趙甬元氏、党中央委員会幹部、建設に参加した軍隊と社会の活動家、建設者、平安南道の中の勤労者が参加した。朴奉珠朝鮮労働党副委員長が竣工の辞を述べ、その中で同工場が高濃度燐安肥料を供給する役割を担っていることに触れ、建設部門、科学者たちと人民軍兵士たちの苦労をねぎらった。その後、金正恩国務委員長は、完成した工場の生産工程に対する解説を聞き、原料加工工程、黄燐生産工程、燐安生産工程、製品の包装工程をはじめとするいくつかの場所を視察した。

### 咸鏡北道に新たな畜養場が建設される

2020年5月2日付『朝鮮新報』によれば、咸鏡北道清津市にある高抹山大西洋サケ海洋養殖事業所に延べ床面積2,000平方メートル強の畜養場が完成した。畜養場はサケとスケトウダラをはじめとする魚の人工交配と放流、養殖に必要な条件が整っていることである。

### 新たなニット製品の製造に注カー平壤市船橋メリヤス工場

2020年5月2日付『朝鮮新報』が、平壤市船橋区域にある船橋メリヤス工場で、質の高いニット製品ほか、各種繊維生産の生産に力を入れ、特に質の向上を重視し、同時に小売店における顧客からのフィードバックの強化など、マーケティングにも力を入れていることを紹介している。

### 三池淵市建設第3段階工事の推進

2020年5月7日発『朝鮮中央通信』によれば、両江道三池淵市の建設事業が第3段階に入り進められているとのことである。2020年4月末までに数百棟のアパートと公共建設物、各種施設の骨組が9割程度完成し、数万平方メートルの内装が完成したとのことである。

### 南浦市養苗場が完成

2020年5月7日発『朝鮮中央通信』によれば、敷地面積は20万平方メートル弱の南浦市養苗場が新たに完工した。

### 金正恩朝鮮労働党委員長が習近平主席中国共産党中央委員会総書記に口頭親書を送る

2020年5月8日発『朝鮮中央通信』によれば、金正恩朝鮮労働党委員長が習近平主

席中国共産党中央委員会総書記に伝染病防疫事業における成果を祝した口頭親書を送った。

### 全国の靴が陳列されているメボンサン商店

2020年5月9日付『朝鮮新報』によれば、平壤市の黎明通りに靴の専門店として有名なメボンサン商店がある。「メボンサン」とは品質トップ製品に贈られる12月15日品質メダルを毎年授賞することで有名な元山靴工場のブランドである。同商店には元山靴工場以外に平壤靴工場、柳園靴工場をはじめとする全国の製靴工場の製品を置いており、男女、学生、子供の靴や運動靴、ズック靴、長靴などのラインナップが揃っているとのことである。また、この商店では、学校等の顧客を訪問しての販売促進活動や製品に対する意見の聴取など、フィードバックを重視しているとのことである。

### 人民経済部門におけるリサイクルの成果が拡大

2020年5月9日付『朝鮮新報』によれば、同年4月12日の最高人民会議第14期第3回会議で「朝鮮民主主義人民共和国再資源化法」が採択された後、資源のリサイクルが盛んになっているとのことである。

### 習近平主席中国共産党中央委員会総書記が金正恩朝鮮労働党委員長に口頭親書を送る

2020年5月9日付中国外交部ホームページおよび2020年5月10日発『朝鮮中央通信』によれば、習近平中国共産党中央委員会総書記が金正恩朝鮮労働党委員長の口頭親書に対して、返信を送った。朝鮮中央通信の報道では、口頭親書の中で習近平総書記は、両党、両国家間の重要な合意を徹底して履行し、戦略的意思疎通を強化し、交流と協力を深めることで新たな時代の中朝関係を絶え間ない前進と発展を促し、地域の発展、繁栄に積極的に寄与する用意があると発言しており、中国外交部の発表では、「両党、両国家間の重要な合意を徹底して履行し」の部分が、「両党両国の関連部門が双方の重要な共通認識をしっかりと実行に移し」となっている。

### 紙上論壇「すべての道には十分な発展の潜在力がある」黄海北道篇発表

2020年5月11日付『労働新聞』は、「すべての道には十分な発展の潜在力がある一突き当たる難関を蹴散らかし正面突破戦の進撃路を自信を持って切り開いていく黄海北道」と題するパク・チャンホ朝鮮労働党黄海北道党委員会委員長らによる紙上論壇を発表した。

### 北朝鮮各地で田植えが始まる

2020年5月13日付『朝鮮新報』によれば、北朝鮮各地で田植えが始まったとのことである。新型コロナウイルス感染症が世界的に広がる中、農村では都市からの支援人力

による新型コロナウイルス感染症の持ち込みを防止するための各種対策を講じているとのことである。

#### **文徳碍子工場で周辺地域の原料やリサイクル資源で生産**

2020年5月14日付『労働新聞』は「自らの地方の資源で原料問題を解決し、宝物工場に跳躍」と題する記事を掲載し、平安南道文徳郡にある文徳碍子工場で、原料と設備、技術問題を自力で解決している様子を紹介している。

#### **電力、金属部門での建設成果**

2020年5月15日付『朝鮮新報』は、金策製鉄連合企業所と黄海製鉄連合企業所での大型酸素分離機設置工事や咸鏡北道の端川発電所、漁郎川発電所をはじめとする全国各地の大規模、中小規模の水力発電所建設を進める一方、北倉火力発電連合企業所、平壤火力発電連合企業所、順川火力発電所、東平壤火力発電所、清川江火力発電所などの発電能力を回復させるための技術革新が進んでいることを報じている。

#### **卸売事業所が廃棄物を使った生産に進出**

2020年5月18日付『朝鮮新報』は、平壤市卸売商業管理处織物卸売所がメリヤス、織物、被服工場から出る端布や裁ちくずを利用して、各種軽工業製品を生産し、より多くの商品を確保するだけでなく、商業奉仕網に対する供給をより活性化させ、全国で噂になっていることを伝えている。この企業所では、製品を製造する工場の産業廃棄物を再生利用するため、各工場で使わなくなった設備などを買い入れ、修理して自力の生産ができる態勢を作ったとのことである。

#### **朝鮮人民革命軍創建日を国家的名節（国民の祝日）に指定**

2020年5月23日発『朝鮮中央通信』によれば、1932年4月25日の朝鮮人民革命軍創建日にちなみ、4月25日を国家的名節とし、国家的休息日（国民の休日）に指定した。これに関連する最高人民会議常任委員会の政令が同月20日に発表された。

#### **朝鮮労働党中央軍事委員会第7期第4回拡大会議開催**

2020年5月24日発『朝鮮中央通信』によれば、朝鮮労働党中央軍事委員会第7期第4回拡大会議が開かれ、金正恩朝鮮労働党委員長兼党中央軍事委員会委員長が同会議を指導した。

同拡大会議では、人民軍隊をはじめとする全般的共和国武力の軍事政治活動で起きている一連の偏向に対し、総括、分析し、それを克服し、決定的改善をもたらすための方法的な問題と武力構成での不合理な機構、編制的な欠点を検討し、正すための問題、自衛的国防力を急速的に発展させて、新たな部隊を組織、編成し、威嚇的な外部勢力に対



する軍事的抑制能力をさらに完備するための核心的な問題が討議された。また、国家武力建設と発展の総体的要求に従って、国の核戦争抑制力をさらにいっそう強化し、戦略武力を高度の射撃準備完了状態で運営するための新たな方針が示された。また、朝鮮人民軍砲兵の火力打撃能力を決定的に高める重大な措置が取られた。

組織問題（人事）に関しては、李炳鉄氏を党中央軍事委員会副委員長として選挙し、武力機関の主要職制指揮メンバーを解任および動員し、新しく任命することに関する組織問題が扱われた。

金正恩委員長は、党中央軍事委員会で討議、決定された新たな軍事的対策に関する命令書と重要軍事教育機関の責任と役割を高めるための機構改編案に関する命令書、安全機関の使命と任務に即し、軍事指揮体系の改編に関する命令書、指揮メンバーの軍事称号を上げることに係る命令書をはじめとする 7 件の命令書に署名した。

#### **紙上論壇「教育がわれらの未来を安心して任せられる教育になるようにしよう」掲載**

2020 年 5 月 26 日付『労働新聞』は、教育委員会キム・スンドウ委員長らによる教育に関する紙上論壇を掲載した。

#### **元山葛麻海岸観光地区で路面電車が開業**

2020 年 5 月 27 日発『朝鮮中央通信』によれば、平壤市、清津市に続き全国 3 番目となる路面電車が元山葛麻海岸観光地区で開業したとのことである。

#### **中国の香港のための措置を支持—外務省スポークスマンの回答**

2020 年 5 月 30 日発『朝鮮中央通信』によれば、北朝鮮外務省のスポークスマンは、中国の全国人民代表大会で香港における国家安全を守るための立法問題が決定されたことに関連し、同日朝鮮中央通信の記者の質問に対して、中国の香港のための措置を支持する旨の回答を行った。

#### **朴奉珠副委員長、清川江—平安南道灌漑水路工事現場を視察**

2020 年 5 月 30 日発『朝鮮中央通信』によれば、朴奉珠朝鮮労働党副委員長が清川江—平安南道灌漑水路堰堤工事現場と南川江地下送水管工事現場、延豊 1、2 号水路トンネル工事現場を現地で視察した。

#### **金才竜総理、黄海北道のミル平野水路と田植えの状況を視察**

2020 年 5 月 31 日発『朝鮮中央通信』によれば、金才竜総理が黄海北道のミル平野水路および同谷山郡松林協同農場と新溪郡新興協同農場の田植えの状況を現地で視察した。

## 平安北道に1,800ヘクタールの新たな干拓地を建設へ

2020年6月1日付『朝鮮新報』によれば、平安北道干拓地建設総合企業所が同年5月31日、ウォル島干拓地第2区域第1次干拓堤防工事を完成したその結果、1,800町歩強（約1,800ヘクタール）の新たな農地が得られる展望が高まった。同工事は2019年6月から行われていた。

## 『労働新聞』、『勤労者』共同論説が掲載

2020年6月1日付『労働新聞』は、朝鮮労働党中央委員会機関誌『勤労者』と共同で「わが党の政治は人民大衆第一主義政治である」という論説を掲載した。

この論説では人民大衆第一主義を、「人民大衆を革命と建設の主人に見て、人民大衆に依拠し、人民のために滅私服務するという政治理念である」としており、金正恩国務委員長の政治は「自分のすべてを一つも残さず捧げ人民のために滅私服務する政治である。」と定義している。そして、金正恩国務委員長の人民大衆第一主義政治は「国と民族万代の富強繁栄を確かなものに保証していく未来志向的な政治である」としており、さらに「わが共和国の全体国力がさらに強化されて国際的地位と位相がはっきり浮き彫りにされている。人民大衆第一主義の政治は、国家の経済力と科学技術力、国防力はもちろん、対外的権威も政治理念、政治方式によって左右されること哲理を実践的に証明した。人民大衆第一主義の政治こそ、私たちの国の尽きない力の源泉であり、発展の一番の推進力である」と結んでいる。

## 紙上論壇「党創建75周年」

2020年6月4日付『労働新聞』は紙上論壇「10月の慶祝広場がわれわれを呼んでいる。皆が総突撃へ進め！」平壤市党委員会キム・ボンソク副委員長ほかによる論壇を掲載した。

## 金与正朝鮮労働党中央委員会第1副部長の談話

2020年6月4日付『労働新聞』は、同年5月31日に韓国の軍事境界線付近で北朝鮮離脱住民（いわゆる「脱北者」）が北朝鮮を非難するビラを配布したことに関連し、「自ら災いを招くな」と題する金与正朝鮮労働党中央委員会第1副部長の談話を掲載した。

この談話は軍事境界線一帯でビラ散布をはじめとする全ての敵対行為が板門店宣言と軍事合意書によって禁止されていることを指摘しながら、韓国側がビラ配布を止めなかったことに対して強烈な言い回しで韓国を非難している。その上で、開城工業地区の完全撤去や南北共同連絡事務所閉鎖、南北軍事合意の破棄などに言及している。

### 中国の香港のための措置を支持—外相が駐朝中国大使と面会

2020年6月5日発『朝鮮中央通信』によれば、同月4日、李善権外相が北朝鮮駐在  
中国大使と会い、香港問題と関連して中国共産党と中国政府が取っている措置に対して  
朝鮮労働党と北朝鮮政府の支持の立場を表明した。

### 黄海南道に大規模な自然流下式水路が完成

2020年6月5日付『朝鮮新報』は、同年4月に完成した黄海南道灌漑工事について  
の記事を掲載し、第2段階（2017年1月起工、2020年4月完工）が完成した黄海南道  
の灌漑工事は、150キロにわたる价川—台城湖用水路よりも土木工事の量が多かったこ  
となどを紹介している。

### 各道に養苗場を建設

2020年6月5日付『朝鮮新報』は、山林復旧のために必要な木の苗を栽培するた  
めに各道に養苗場が建設されていることを報じている。平安南道平城市雲興里に建設され  
た平安南道養苗場、黄海南道の数十ヘクタールにのぼる樹脂パネル温室などを備えた養  
苗場などを紹介している。なお、平壤市の養苗場は建設が最終段階になっているとのこ  
とである。

### 朝鮮労働党中央委員会第7期第13回政治局会議開催

2020年6月8日付『労働新聞』によれば、同月7日、朝鮮労働党中央委員会第7期  
第13回政治局会議が開催された。政治局会議には、金正恩朝鮮労働党委員長の他、朝  
鮮労働党中央委員会政治局委員、候補委員らが参加し、内閣副総理と一部道の党委員長、  
委員会、省の責任活動家が傍聴で参加した。党中央委員会政治局の委任によって、金正  
恩委員長が会議を司会した。

第一の議案では化学工業を展望性があるように発展させるうえで、生じる当面のいく  
つかの問題について討議が行われ、金正恩委員長が化学工業の構造を主体化、現代化の  
要求に即して改造し、持続的な発展軌道に乗せるための方向と方法を明らかにした。会  
議では、C1 化学工業創設を早めるための意見を聴取し、化学工業発展の新たな活路を  
開くための問題を真剣に協議した。また、化学工業部門において何よりも肥料生産能力  
を増やすための活動を最優先的な問題として捉え、この活動を強く推し進めていくこ  
とに関して、われわれの原料に基づいたカリウム肥料工業を創設するうえで、提起される  
科学技術的問題を早急に解決することについて特別に強調した。

第二の議案として、首都の市民たちの生活保障で生じる当面の問題が討議された。金  
正恩委員長は、首都の市民の生活保障において早急に解決すべき問題を具体的に指摘し、  
住宅建設をはじめとする人民生活保障と関連した国家的な対策を強く立てることにつ  
いて強調した。会議では、平壤の市民生活で提起される問題を解決するための重要問題

が討議された。

第三の議案として現行の党活動で提起される一連の規約上の問題を一部修正し、党規約改正案に反映することに対する意見を審議、批准した。

第四の議案として組織問題を討議し、党中央委員会政治局委員候補を選出した。金栄敏を党中央委員会政治局委員候補に選出した。

党中央委員会委員、委員候補を召還及び選出した。高吉先、キム・ジョンナム、宋英健を党中央委員会委員から委員に、リ・ジェナム、クオン・テヨン、クオン・ヨンジンを選出した。

リム・ヨン Chol、カン・イルソプ、シン・インヨン、リ・キョン Chol、キム・ジユサム、キム・チョン Chol、チェ・グアンジュン、ヤン・ミョン Chol、キム・ヨン Chol、パク・マンホを党中央委員会委員候補に選出した。

### 南北間の通信線を遮断

2020年6月9日発『朝鮮中央通信』によれば、北朝鮮は南北間の通信線を同日12時（正午）に完全に遮断する旨の報道を発表した。停止される連絡線は、南北合同連絡事務所を通じた南北当局間の通信連絡線、南北軍部間の東海線および西海線の通信連絡線、南北通信試験連絡線、朝鮮労働党中央委員会本部庁舎と青瓦台間のホットラインである。

### 羅先市に養苗場とウサギ牧場を新たに建設

2020年6月9日付『朝鮮新報』は、羅先市先鋒地区に養苗場とウサギ農場が新たに建設されたことを伝えている。

### 平安南道平城市に平城体育館建設

2020年6月9日発『朝鮮中央通信』によれば、平安南道平城市に延床面積が1万平方メートルを超え、1,200席の座席を備え、室内サッカーとバスケットボール、バレーボール、テニス、卓球をはじめとする多様な体育行事を行うことができる平城体育館が新たに建設された。

### 北朝鮮各地で2カ月遅れの始業式

2020年6月12日付『朝鮮新報』によれば、同月3日、北朝鮮の各地で小学校、中学校（初級中学校が日本の中学校に、高級中学校が日本の高校に相当）の始業式が行われていた。例年は4月1日または2日に始業式が行われるが、今年は新型コロナウイルス感染症のために遅れて始まったものである。各学校では、児童、生徒にマスクを着用させ、校門では体温測定を行い、手の消毒を行うなど、感染防止対策をとった上での授業再開となった。

### **黄海北道養苗場が完成**

2020年6月13日発『朝鮮中央通信』によれば、敷地面積が数十ヘクタールにのぼる黄海北道養苗場が完成し、同月12日に竣工式が開催された。

### **平安南道養苗場と安州市種魚事業所アユ養魚基地が完成**

2020年6月15日発『朝鮮中央通信』によれば、平安南道平城市に平安南道養苗場が、同道安州市に安州市種魚事業所アユ養魚基地がそれぞれ建設された。同月14日に各々竣工式が開催された。

### **南北共同連絡事務所爆破される**

2020年6月16日発『朝鮮中央通信』によれば、同日14時50分に南北共同連絡事務所が爆破され、完全に破壊された。この建物は北朝鮮が土地を、韓国政府が建設資金を出して建設した建物で、北朝鮮の主権が行使される開城工業団地内に位置する。

(ERINA 調査研究部主任研究員 三村光弘)